



前列左から一人目が松本さん、二人目が富永さん

9月14日から16日、韓国で開催された第17回世界剣道選手権において、鹿屋体育大学剣道部松本智香さん（武道課程4年）と同道課程4年の富永比奈野さん（同大学2018・3卒）がメンバーとして出場した日本女子チームが7連覇を果たしました。序盤戦から先鋒に起用された松本さんは、3試合に出場。日本の若手ホープの切込み役として見事に打ち勝ち、出場した全試合で勝利する強さと勢いを見せつける活躍となりました。富永さんは決勝戦を含む4試合に出場

世界剣道選手権 日本女子優勝！
松本智香さん（剣道部） 富永比奈野さん（本学職員）

し、チーム唯一の上段（構えのスタイル）選手として大活躍。中堅に抜擢された準決勝と決勝でも安定した強さを見せ、優勝に大きく貢献しました。大会を振り返り、松本さんは、「鹿屋体育大学に入学した目標の一つである世界大会での優勝が達成でき、嬉しさと安心した気持ちです。これまでいただいたご支援や応援に感謝しています」と、この方富永さんは、「この日のために3年間全日本強化合宿で厳しい訓練を積んできて本当によかった。ご指導くださった先生方、ご声援くださった方々に感謝しています」と述べました。

日本代表のコーチとして帯同した竹中健太郎准教授は「女子チ

この他、多数出場した同大学卒業生の皆様も、左記のような成績を残されました。おめでとうございませう！

女子個人戦 3位	藤本 美	(京都府・教員 2014・3卒)
男子団体 優勝	前田 康喜	(大阪府・警察官 2015・3卒)
男子個人ベスト8	勝見 洋介	(神奈川県・警察官 2009・3卒)



編集・発行／公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

競技	種目等	成績	氏名	学年	出場県
バレーボール	▽男子	4位	岩本 丈	4年	熊本
		1位	杉野 正亮	2年	福井
		3位	堀内 柊澄	3年	岡山
体操競技	▽成年男子 団体総合	4位	前野 風哉	4年	鹿児島
			大村 幸輝	4年	
			中谷 至希	3年	
			上田 直樹	2年	
			藤巻 竣平	1年	
水泳	▽成年男子 200 m個人メドレー	7位	福本 岳琉	1年	愛知
(オープンウォーター)	▽男子 5 km	6位	野崎 充	3年	佐賀
剣道	▽成年女子 団体	7位	小林 佑馬	4年	三重
	▽成年男子 団体	3位	渡邊 桃子	3年	鹿児島
		2位	竹中 健太郎	教員	鹿児島
自転車	▽成年男子 個人ロードレース (93.9 km)	4位	重満 丈	2年	沖縄
	スプリント	7位	真鍋 智寛	2年	愛媛
	ケイリン	8位	岸田 剛	2年	福井
	▽男子 4 kmチームパーシュート	3位	釘尾 真幸	4年	鹿児島
	チーム・スプリント	2位	徳田 匠	3年	京都
		8位	中村 圭佑	2年	広島
	ケイリン	1位	岸田 剛	2年	福井
	スクラッチ	2位	阿部 将大	4年	大分
	チーム・スプリント	7位	西島 叶子	4年	熊本
セーリング	▽成年女子 ウインドサーフィン級	6位	橋本 優弥	3年	岐阜
なぎなた	▽成年女子 団体	7位	橋本 純葉	3年	岐阜
ボート	▽成年女子 ダブルスカル	6位	渡邊 純葉	2年	山口
	シングルスカル	7位	春山 りんか	1年	熊本
		3位	谷口 智佳子	1年	鹿児島
		4位	四方 美咲	2年	京都

第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体

9月29日から10月9日において第73回国民体育大会が福井県で開催されました。(一部会期前実施競技もあり)

今年度の国体は、幸福日本といわれる福井県で県民の元気と創意を結集し、しあわせを感じ、元気があふれる国体をめざして、福井しあわせ元気国体2018と愛称がつけられ、「織りなそう」と、正式競技37競技その他デモンストラーションに、正式競技と、自転車成年男子スプリントの選手として

9月29日から10月9日に出場した岸田剛さん(同2年)は、見事優勝し、福井県の総合優勝につながった。

また、鹿児島県勢としての出場したその他の選手や教員についても、昨年より大幅な順位アップを果たし総合成績17位となり、2年後の開催県として勢いがあふれるところを見せた鹿児島県勢の一員として多くの競技で貢献・健闘しました。

わかくさ

2020年の東京オリンピックが近づいており何かと話題になっているが、鹿児島県民としては同じく2020年に開催される鹿児島国体にも関心が高まりつつあり、1972年の第27回鹿児島大会のような総合優勝を目指し、選手の育成に力を入れていくように見受けられる。2020年には75回を迎える国体であるが、その第1回大会は昭和21年に京都府で、戦後の荒廃と混乱の中国民、特に青少年を対象にスポーツを通して財団法人日本体育会(現在の日本スポーツ協会)が開催したものである。現在、都道府県対抗方式であるが、この方式は第3回福岡大会からの方式で、鹿児島県は男子総合優勝の天皇杯、女子総合優勝の皇后杯ともに第27回鹿児島大会での獲得のみとなっている。国体は9月・10月に本大会が、1月・2月に冬季大会が行われており、鹿児島国体は本大会にあたり、2020年の冬季大会は青森県(スケート競技・アイスホッケー)と富山県(スキー競技)の2県で行われる予定。親しみのある競技から普段あまり見られない競技まで、トップレベルの選手の活躍を間近で見ることが出来る機会である。鹿屋市でもバレー、自転車、ボートのほか、デモンストラーションスポーツとして、スポーツ吹き矢が行われる予定となっているので、ぜひ試合会場まで足を延ばしてみたいかどうか(Y・K)

スポーツを愛する
すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団



炳坤学長(後列中央)と一緒に



カヤック体験にて



歓声に沸いた体操競技のエキシビション



屋内実験プールでのカヌー体験



車いすテニスの体験



剣道体験の様子

短期留学のための体験研修in台湾
鹿屋体育大学では、アジア地域の交流協定校への留学支援事業に基づき、9月23日～27日の日程で、国立体育大学（台湾）へ学生4名と教職員3名を派遣しました。本事業は、鹿屋体育大学学生の留学への意識や意欲の向上を図るため、実際に海外の大学での生活や授業を体験することにより、知見や情報を得ることを目的として実施しています。

23日は、まず台北市街へ赴き、通訳がつかない状態で英語やジェスチャーを駆使して買物を体験。その後、国立体育大学主催の歓迎会に出席する組と、鹿屋体育大学に交換留学していた経験のある学生と一緒に野球観戦する組に分かれて、情報交換や学生間交流を行いました。

24日は特産品のパイナップル製缶工場、中正記念堂や故宮博物館等を視察。25日は国立体育大学内の体育施設やオリンピック関係の貴重な資料が閲覧できるギャラリーを見学後、同大学の炳坤学長を表敬訪問し、炳坤学長からは参加学生へ歓迎の言葉が述べられました。さらに、中国語講座、レクリエーション活動などの学習成果が披露され、参加者は熱心に見入っていました。

26日は、国立体育大学の学生の指導・支援を得て、アウトドアスポーツ、カヤック等の授業体験や鹿屋体育大学に留学した経験のあるOB・OG等との交流会が行われ、留学についての活発な情報交換が行われました。

当初は、緊張がみられた参加学生も、次第に打ち解け、最終日の頃は自らの中国語で自己紹介を行う程の成長みられる貴重な研修となりました。

この「スポーツフェスタinかのや」は昨年度まで主に鹿屋市体育館を会場として実施されてきたが、現在、鹿屋体育大学と鹿屋市が一体となつてスポーツを通じた地域活性化を目指す取組（Blue Winds）を行っていることを機に、今年初めて同大学を会場に開催されたものです。

9時の受付開始時から多くの家族連れが訪れ、各スポーツ体験がスタンプリール方式になっているスタンプリールカードを受け取ると、走って会場へ行く姿が見受けられました。メイン会場の総合体育館内では、スポーツ吹矢、ストラックアウト、バスケットボールやバレーボール、日本代表も活躍したボッチャ、トレーニングマシンで体験できる濡れないボートや、気軽に体験できる剣道等、日ごろ身近には無いスポーツにもチャレンジできるという待ちきれない表情で多くの子供たちが並びました。また、50mを備える屋内実験プールでのカヌー、屋外でサッカー、ランニングバイク、車いすテニスなど同大学の誇る広大な施設・優れた設備を有効に活用して様々なスポーツ体験が繰り広げられました。

さらにメインイベントとして国際レベルで活躍する選手が多数所属する体操競技部のエキシビションが実施されました。事前に30分間だけ設けられた体験時間も初めての体操競技器具に触れて楽しむ多くの子供たちとその姿をカメラに留めようとすると保護者で会場は溢れんばかり。その後行われたエキシビションも、会場に入りきれない程の多くの方が押し寄せ、同大学の体操競技部の精鋭6人が目の前で繰り広げる体操競技に息をのんで見入り、着地と共拍手と歓声があがりました。

このようなトレーニングの成果もあり、今年石川県で行われた「全日本学生カヌースプリント選手権」では少ない女子部員も含め多くの部員が優勝・入賞を勝ち取り、男子カナディアン部門で優勝することができました。また、全日本選手権でも成績を残し、さらには、国際大会という大きな場で活躍する選手も輩出しています。今年度は、部門優勝を果たしたものの、目標としてきた総合優勝には届きませんでした。この恵まれた環境に感謝すること、カヌーという競技に取り組む中で人間性に成長することも忘れずに、日々練習に励んでいきます。そして、来年度は目標の総合優勝を勝ち取り、各個人さらに飛躍した成績を残して、カヌー部一同、支援していただいている皆さんに感謝の意を伝えたいと思っています。今後とも応援よろしく願います。

課外活動団体紹介



カヌー部

私たち鹿屋体育大学カヌー部は現在、男子15名女子3名の計18名で活動しています。

私たちが取り組んでいるカヌースプリントという競技は、激流の中を下るスラロームとは違い、流れのない静水に設置されたコースの中でタイムを競うものです。

毎日、放課後に集合し、全員で大学から車で片道30分の場所にある大隅湖に移動して練習を行っています。

また、ここ鹿屋体育大学には、あらゆるトレーニング設備が整っているため、低酸素室の中でのバイクトレーニングやプールでの長時間有酸素運動など、乗艇練習だけではなく、充実した設備を活用した他ではできないような練習を行うことができます。新学期に入った10月現在は、毎日約3時間の有酸素運動を行うなど、基礎体力向上トレーニングに力を入れています。

汲取の御注文 浄化槽の管理



鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL (0994) 43-3425

寿自動車学校
心豊かな車社会を願う
運転免許のことなら

TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)
ホームページURL http://kotobuki-ds.jp

何か物足りない、
何か決め手に欠く、
そんな“あと一歩”を
お手伝いします。

ヒューマン印刷に変わる
株式会社 新生社印刷
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL http://www.shinsei-p.co.jp
E-mail kan@shinsei-p.co.jp

東京アカデミーで、
「なりたい」を仕事にする！
東京アカデミー鹿児島校 全国32拠点

2019年夏受験
大学3年生限定！
リーズナブルな受講料！
「大学3年生コース」好評受付中

- ◆教員採用試験対策講座
- ◆公務員試験対策講座

鹿児島市東千石町14-10
天文館三井生命南国テレビビル6F
個別相談・ガイダンス随時受付中
TEL 0120-220-731

FD講演・研修会を開催

鹿屋体育大学では、9月21日にFD（フアール・ディベロップメン）講演・研修会を開催しました。

これは、同大学における大学改革・教育改革の一環として、教員の教育内容・授業方法の恒常的な改善を目的に、FD推進事業として毎年実施しているもの。

まず、同大学の教育企画・評価室特任助教である近藤亮介氏が講師となり、「本学学生の汎用的能力特性と学修支援のあり方」と題したテーマで、現在同大学学生を対象に実施しているPROGテスト（専攻・専門に関わらず、社会で求められる

汎用的な能力・態度・志向性・エネルギー・スキルを測定・育成するもの）の結果と学修の満足度等の調査結果を手がかりに、学生への学修支援のあり方に関する話題について講演しました。



講演・研修会の様子

生の特徴（データ）がわかりそのデータを活用できるような授業案を作成したい」「有益な情報を得て意見交換できたことが今後の授業づくりに生かせそう」等の今後の授業改善に向けた意見が寄せられました。

「学内共同教育研究施設だより」スポーツ情報センターについて

センター長 和田 智仁

スポーツ情報センターでは、コンピュータやネットワークなど大学の活動にはなくてはならない情報システムの管理運営や利用者支援、さらに情報セキュリティ対策の推進などを担っています。

教育研究用システムは5



年ごとに最新の機器を入れ替えられており、2018年3月には通算4期目となるシステムが導入されました。無線LAN（Wi-Fi）エリアの拡充にも取り組んでおり、教室はもちろん、体育館、武道館、プールなどの屋内体育施設に加え、陸上競技場、テニス、サッカー、野球などの屋外競技場でも無線LANを使った教育・研究や競技活動が行えるようになっています。スポーツ施設への無線LANの展開は全国的にも珍しいものだと自負しています。

闘いの記録 9月

- 【陸上競技】
◆天皇賜盃第87回日本学生陸上競技対校選手権大会（9/6～9 神奈川/川崎市等々力陸上競技場）
▽男子
1500m 5位 小林 青
▽女子
1500m 3位 日隈 彩美
7位 藤川 遥
◆第46回九州学生陸上競技選手権大会（9/14～16 福岡/福岡市平和台陸上競技場）
▽男子
400mH 3位 谷本 翔平
三段跳 3位 植林 佳明
砲丸投（7.260kg）3位 金城 海斗
【テニス】
◆平成30年度全日本大学対抗テニス王座決定試合九州地区予選1部（9/10～12 福岡/九州国際テニスクラブ）
▽男子
団体 1位 鹿屋体育大学
▽女子
団体 1位 鹿屋体育大学
【サッカー】
◆2018年度第42回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント（8/31～9/9 大阪/ヤンマーフィールド長居・ヤンマースタジアム長居）
ベスト8 鹿屋体育大学
【水泳】
◆第94回日本学生選手権水泳競技大会（9/7～9/9 神奈川/横浜国際プール長水路）
▽男子
400m自由形 3位 小林 祐馬

- 1500m自由形 4位 小林 祐馬
5位 佐貫 省吾
400m個人メドレー 5位 野崎 充
▽女子
200m背泳ぎ 8位 山口 藍李
【柔道】
◆九州学生柔道体重別選手権大会（9/1～9/2 福岡/福岡武道館）
▽男子
60kg級 1位 森田 将矢
2位 大悟 裕馬
66kg級 2位 清家 和希
3位 星田 礼弥
73kg級 1位 小林 史人
81kg級 1位 山田 将樹
2位 竹下 弘人
90kg級 1位 吉野 英也
2位 田上 敦哉
100kg級 1位 吉野 敦哉
2位 境 辰五郎
3位 大石 智也
100kg超級 3位 福井 優駿
1位 平崎 省吾
2位 永田 賢斗
3位 黒河内 健介
▽女子
48kg級 1位 松西 夢紀
52kg級 3位 阪部 りり子
63kg級 1位 飯野 鈴々
2位 塔本 葵葉
70kg級 1位 牧田 朱加
3位 伊藤 友希
2位 栗原 佑佳
78kg超 2位 栗原 佑佳
◆全日本ジュニア柔道体重別選手権大会（9/8～9/9 埼玉/埼玉県立武道館）
▽男子
60kg級 3位 福田 大悟
90kg級 8位 吉野 弘人
▽女子
70kg級 5位 伊藤 友希

- ◆全日本学生柔道体重別選手権大会（9/29～9/30 東京/日本武道館）
▽男子
60kg級 3位 森田 将矢
73kg級 5位 小林 礼弥
100kg級 5位 吉野 敦哉
▽女子
70kg級 5位 牧田 朱加
【剣道】
◆第65回全九州学生剣道大会（9/8 福岡/粕屋町総合体育館）
▽男子
団体 1位 鹿屋体育大学
◆第41回全九州女子学生剣道大会（9/8 福岡/粕屋町総合体育館）
▽女子
団体 1位 鹿屋体育大学
◆第17回世界剣道選手権大会（9/14～16 韓国/仁川南洞体育館）
▽女子
団体 1位 松本 ※（日本）
※は他団体選手との出場を示す。
◆第57回全日本女子剣道選手権大会（9/23 長野/長野市真島総合スポーツアリーナ）
個人戦 3位 松本 智香
【ヨット】
◆第27回全日本学生女子ヨット選手権大会（9/21～24 愛知/豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖）
470級 3位 川邊、北林
【漕艇】
◆第45回全日本大学選手権大会（9/6～9/9 埼玉/戸田ボートコース）
▽女子
シングルスカル 4位 四方 美咲

- 【自転車競技】
◆第74回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会ロード（9/2 長野/大町市美麻地区 公道周回コース）
▽女子
ロードレース 1位 中井 彩子
◆第87回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース（9/8～9 静岡/伊豆ベロドローム）
▽男子
エリート チーム・スプリント
マディソン 4位 岸田、山根、真鍋
8位 長松（大）、徳田
▽女子
マディソン 1位 橋本 ※
エリート チーム・スプリント 3位 西島 ※
エリート ポイントレース 5位 橋本 優弥
エリート スプリント 4位 西島 叶子
※は他団体選手との出場を示す。
【カヌー】
◆日本選手権大会 平成30年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会（9/6～9 石川/木場潟カヌー競技場）
▽男子
K-2 500m 3位 田原 ※
C-1 500m 7位 日高 将希
C-2 500m 2位 日高、柚野
7位 岡村、横山
K-2 1000m 3位 田原、森黒
C-2 1000m 2位 佐藤 ※
※は他団体選手との出場を示す。
★第73回国民体育大会の成績は1面に記載しております。

学内行事 12月

- 6日 推薦入試及び特別入試（～7日）
26日 冬期休業期間（～1月7日）

闘いのスケジュール 12月

- 1日・第36回九州学生駅伝対校選手権大会（長崎/島原市）
・第18回九州学生女子駅伝対校選手権大会（長崎/島原市）
2日・皇后盃第63回全日本なぎなた選手権大会（千葉/浦安市運動公園総合体育館メインアリーナ）

- 15日・第13回全日本学生剣道オープン大会（～16 石川/いしかわ総合スポーツセンター）
17日・第23回冬季短水路公認記録会（福岡/総合西市民プール）
22日・第29回全日本セパタクロー選手権大会（～23 東京/駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場）
30日・2018全日本大学女子選抜駅伝競走（静岡/富士宮市・富士市）

公式HP、Twitter、Facebookで情報発信しています！



公式 HP



Twitter



Facebook

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費（寄付金）は一口企業三万円、個人一万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費（寄付金）につきましては税法上の優遇措置があり、二万円を超える寄付金につきましても、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。

振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

（普）九三〇六七 鹿屋支店

（普）三三八二一 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

（普）〇〇四三八〇 西原支店

ありがとうございます
ごさいます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。
心から感謝申し上げます。

「一般」
カイコー（株）様（三万円）